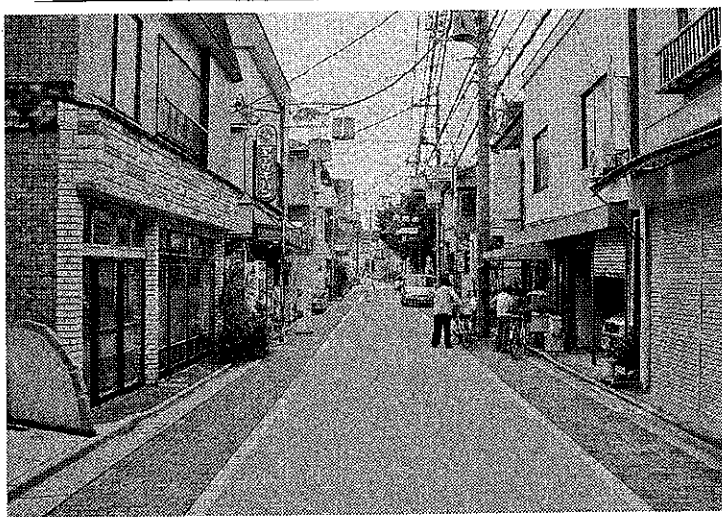


生活道路にも遮熱性舗装

3商品で各種ニーズ対応



「パーフェクトクールA.P.」の適用事例

NIPPO

NIPPOは、生活道路向けの遮熱性舗装の新商品「パーフェクトクールA.P.」を開発した。夏場の路面温度上昇を10度以上抑制できる性能を維持しながら、普通乗用車クラスの通行を想定した強度も確保。住宅の多い地域への適用を考慮して、施工時の臭気がほとんど出ないように、材料面での工夫も取り入れた。遮熱性舗装の市場が全国的に広がってきたことを踏まえ、重交通道路や歩行者用道路をターゲットに開発された従来技術の間を埋めるものに位置づけ、あらゆるニーズに対応できるようにする。

同社の遮熱性舗装の取組みは、歩道向けに水系のアクリルエマルジョン塗料を用いる「パーフェクトクールA」、歩道から重交通道路まで幅広い需要に対応するメタクリル酸メチル(MMA)系の「同M」の二つの商品で展開してきた。今回開発した「同A.P.」では、環境に優しいアクリルエマルジョンをベースにしながら、強度を高めるポリエステルを加えた複合樹脂を採用。同社が実施した試験では、塗膜の引っ張り強度がエマルジョン系の約1.8倍で、歩道向けとMMA系の中間程度の強さを持つことが確認された。これにより、今後需要が見込める生活道路でも、沿道環境を維持するのと同時に、乗用車クラスの通行に対する耐久性も

得られるという。施工は従来と同様、スプレーガンで路面に吹き付ける方法で行うが、車両通行に対するすべり抵抗を確保できるような工夫も施した。

試験導入を含めた「同A.P.」の施工実績は、自治体案件などで4件、約2000平方メートル。いずれも良好な結果が得られている。

遮熱性舗装について同社は、09年度に4万2000平方メートルの施工実績を確保した。

「A」「A.P」「M」と3種類の商品群がそろった今後は、一段と幅広いニーズが取り込めるとして、10年度は6万平方メートルの施工量確保を目指した営業を展開する。

アスファルト舗装上の遮熱性舗装に関して同社は「このほど、特許を取得しており、さらなる普及を目指して、「この特許を有効的に活用していきたい」(山岸宏生産技術課長)としている。

日刊建設工業新聞
平成22年4月9日掲載